

小生は生きて帰らねばなりません
絵をかくために

日高 安典さん

鹿児島県種子島に生まれる
昭和20年4月19日、フィリピンルソン島バギオにおいて戦死。享年27歳

戦没画学生慰霊美術館 「無言館」 ―祈りの絵画―展

収蔵作品による

七戸町立鷹山宇一記念美術館開館15周年記念
―今、わたしたちに、できること―

あなたに伝えたい、
絵があります…

2009年
7月26日(日)
↓
9月6日(日)

会期中は無休

入館時間／10:00～17:30(閉館は18:00)
※但し8/23(日)は閉館16:00



「街」片桐彰さん(長野県下伊那郡豊後村)



「女性群像」(二曲一対屏風・右翼) 荒関芳一さん(青森県五所川原市)



「母の坐像」千葉四郎さん(青森県弘前市)



「少女」(合作) 山之井龍朗さん・俊朗さん(神奈川県横浜市)

【記念事業】

Part 1 講演会

■日 時／2009年7月25日(土)
18:30～20:00

■会 場／七戸町・柏葉館
■講 師／窪島誠一郎氏(無言館主・作家)
■テーマ／「無言館」のこと
■聴講料／無料
■定 員／300名(申込みが必要です)

Part 2 対談

■日 時／2009年8月23日(日)
18:30～20:00

■会 場／鷹山宇一記念美術館
■講 師／窪島誠一郎氏(無言館主・作家)
鷹山ひばり氏(青森県立美術館長)
■テーマ／画家と戦争(仮題)
■聴講料／美術館入館料が必要です
■定 員／150名(申込みが必要です)

*参加ご希望の方は必ずお申し込みください。
申込先=鷹山宇一記念美術館 ☎0176-62-5858



「編みものする婦人」興梧武さん(千葉県木更津市)

道の駅しちのへ「七戸町文化村」
七戸町立鷹山宇一記念美術館

お腹の赤はあはれるだろう
俺にかわって
親孝行と赤を大事に育てるのとなを
引き受けてくれ
余分な心配はせぬよう
体に心掛けねばならぬよ

中村 萬平さん

静岡県浜松市に生まれる
昭和18年8月2日
蒙古連合自治政府巴彥塔拉盟武川県において戦病死
享年26歳

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94 TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860

■入館料／一般850(650)円、学生300(240)円、高校生以下は無料 *幼児・小学生は大人の方の同伴が必要です

※75歳以上の方、障がいをお持ちの方は上記料金を半額割引させていただきます。証明のできる手帳などをご提示下さい

※()内は前売券、20名様以上の団体、JAF会員、県民カレッジ受講者割引料金。前売券は当館窓口及び⑧サウス ⑨サウス 青森県内各店、電子チケットぴあぴあ(Pコード688-745)で7/25迄お求めいただけます

主催／財団法人鷹山宇一記念美術振興会 共催／東奥日報社 特別協力／戦没画学生慰霊美術館「無言館」

後援／青森県、青森県教育委員会、青森県遺族会、七戸町、七戸町教育委員会、七戸町文化協会、七戸町観光協会、NHK青森放送局、青森放送株式会社、株式会社青森テレビ、青森朝日放送株式会社

協力／鷹山宇一記念美術館友の会

